

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

学校名	佐賀市立城東中学校
-----	-----------

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・教師と生徒との関係は良好で、良い雰囲気の中で学校生活を送ることができている。授業については、教師の方をしっかりと見て受けており、授業改善を図りながら学習指導に取り組んだと感じている教師が多かった。 ・設定したそれぞれの成果目標については、心の教育・働き方改革・特別支援教育の充実について達成することができた。学校評議員会においても委員の方々からは、学校の取組に賛同され高い評価を得ることができた。 ・各評価項目において成果が出ていると考えられる。家庭や地域と課題を共有し、連携を強化して教育活動を進めていく必要がある。	
------------------	--	--

2 学校教育目標	・ 夢実現◇成長の根幹づくり ～尊重の根を広げ、挑戦の幹を高める やがて枝が伸び、芽が出て花が咲く～
----------	--

3 本年度の重点目標	① 基礎・基本と学びの交流を大切にした授業づくりによる学力の向上 ② 集団づくりによる不登校の未然防止 ③ 「出番」「役割」「承認」、温かな雰囲気による問題行動の未然防止 ④ 信頼関係の構築(生徒・教職員・保護者・地域連携・小中連携) ⑤ 健康・体力・安全教育の推進(感染症対策、交通安全対策の徹底) ⑥ 道徳教育、進路・キャリア教育の充実(進路実現100%) ⑦ 学校課題に応じた教職員研修の充実
------------	---

4 重点取組内容・成果指標			中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価			学校関係者評価
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○研究授業や講師招聘による研修会を通して授業改善に取り組んだ教師80%以上 ○県の学習状況調査において、各教科で県平均以上の通過率を目指す。 ○「毎日の授業に一生懸命に取り組んでいる。また、計画的に家庭学習に取り組んでいる。」と回答した生徒85%以上		・校内研修での研究授業や講師招聘による研修会などを通して、授業改善に努める。 ・計画的に課題を与え、家庭学習に取り組ませる。定期テストなどでは、早めに出題範囲を提示し、計画的な学習を進めさせる。					学力向上対策コーディネーター 学習状況調査担当
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○自己肯定感を高め、自他を尊重できる生徒を育てる。 ○アンケートに「学校生活は楽しい」と回答した生徒92%以上		・特別の教科道徳の実践を道徳的な資質・能力の向上のみならず、学びに向かう力や思考力・判断力・表現力を培う指導技術向上のための基幹的な取り組みと位置付ける。 ・差別の現実深く学びながら、差別を見逃さず、差別を許さない、差別と闘うことのできる生徒を全教科・全領域で育てる。 ・人権・同和教育の授業実践、人権講話、人権作文・人権放送などに取り組む、身の回りにある課題に気づきあい、その解決に取り組むことにより人権意識を高める。					人権・同和教育担当 道徳教育推進教師
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)に向けて学校は積極的に取り組んでいると思うと回答した生徒80%以上 ○気になる生徒の情報共有及びSCやSSWとの連携を図ることができていると思うと回答した教師90%以上		・月1回の生活アンケートをもとに、生徒の実態把握に努める。 ・毎月初めに「いじめ・いのちを考える日」を設定し、いじめ0宣言の唱和を行う。 ・SCやSSWと連携し、迅速にケース会議を実施する。 ・毎週木曜日の教育相談部会を充実させる。 ・定期教育相談(年2回)を実施する。 ・QUテストの実施と研修会の実施。					生徒指導主事 生徒会担当 教育相談担当
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒85%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒70%以上		・学校教育活動のあらゆる場面において、生徒に出番、役割を与え、その都度、教師や他の生徒、保護者などによる承認、賞賛を行っていく。 ・学校教育目標でもある「夢実現」をキーワードとして学校教育全体で「夢」を持つことの大切さを意識させる。 ・キャリア・パスポートなどを有効に活用し、進路指導・キャリア教育の計画的実践を図る。 ・社会的・職業的自立に向けて基礎的・汎用的能力を育成するために各学年で発達段階に応じた教育活動を行う。 ・進路に関する諸資料の収集や情報の提供を学校全体で連携して行う。					進路指導主事 キャリア教育担当
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	●○授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で360 分以上の生徒80%以上 ●交通安全の喚起に関する集いを各学期1回以上実施する。		・生徒の規律正しい生活や健やかな成長のために、部活動の休養日や練習時間のバランスを適切に設定する。 ・防犯教室、交通安全教室を開催し、生徒の安全に対する意識を高める。 ・登校時や下校時に交通指導を行い、交通ルールやマナーを身に付けさせる。 ・校外における危険箇所等について、PTAや地域住民と情報を共有し、生徒への指導に役立てる。					健康教育担当 交通指導担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上		・学校行事や会議等の随時見直し及び職員間の共通理解・共通実践を図ることで、「チーム城東」として協調・協働する職員体制を確立させ、業務改善を図る。 ・県下一斉部活動休養日(月の第3日曜日)と各部活動ごとに週2回の休養日を徹底する。					管理職
●特別支援教育の充実	○教室環境整備や学習指導に特別支援教育の視点を取り入れた取組の実践	○環境整備や学習指導の工夫を行ったと思うと回答した教師85%以上		・特別支援教育の推進を図る職員研修の実施。 ・学年部会や特別支援学級部会での合理的配慮の検討と共通理解を行う。 ・エリアリーダーの積極的活用 ・校内研修実会において、学習目標・学習の流れの提示についての提案を行い、全職員で実践していく。					特別支援コーディネーター

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--